

沖井委員（自民議連）

平成 31 年 2 月 25 日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）学校現場の実情について

教育長は赴任して1年を迎えようとしており、既に小・中・高多くの学校を訪問しているが、教育長の目から見て、課題発見・解決学習は広島県において浸透してきているか、今後克服すべき問題点は何か、併せて伺う。

（答）

これまでの学校訪問などを通じ、例えば、総合的な学習の時間において、地域活性化に向けて課題を発見し、各教科で学習した知識・技能等を活用し、地域の特産品を使った商品開発等の取組を行政機関に提案するなど、各校において工夫しながら、「課題発見・解決学習」を進めているものと考えております。

しかしながら、学校間や教科間で取組に差が見られ、具体的には、単なる調べ学習で終わったり、振り返りが十分でなかったりするような事例も見受けられております。

県教育委員会といたしましては、引き続き、研修や学校へ訪問しての指導等を通じ、全県で課題発見・解決学習の取組が充実するよう取り組んでまいりたいと思います。